

事務事業調査
平成26年度

事業No	789	課	中央図書館	係	図書係	起案者	神谷美恵子
						決裁者	寺澤正嗣
事務事業名		読書活動推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 4 図書館の充実 1 図書館の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-55	
				総合計画以外の計画		図書館推進計画、子ども読書活動推進計	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	H26.6一般質問答弁：読書通長機の導入による子どもの読書意欲の向上を					
陳情・市民要望	有	利用者アンケート(隔年で実施)や文書、メール等で随時、要望多数					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業、ボランティア				
実施期間	開始	昭和24年度	経過	65年目	終了		期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	より多くの市民や子ども達が			~になる	読書に親しみ、心豊かになる	
事務事業の内容	・市民の読書活動を推進し、子どもが読書に親しみ図書館や公民館図書室をより身近なものにしてもらうため、出前おはなし会や定例のおはなし会、様々な講演会・講座等を開催するとともに、読書グループやおはなしボランティアの育成・支援を行います。また、平成25年8月から開始した安城版ブックスタートも継続します。・団体貸出を推進し、学校や地域での読書活動の支援を行うとともに、学校・保育園・幼稚園など関係機関と連携し、子どもの発達段階に応じた読書環境の整備に努めます。						
改善・対策の履歴	読書活動推進事業の対象が子どもに偏りすぎているのではないかと指摘を受け、25年度では「弥次さん、喜多さんとお伊勢さん参りー『東海道中膝栗毛』を読む」という一般向けの古典講座を実施しました。7回講座でしたが50代を中心に24人(男女半々)の方が受講され好評でした。今後は修了生による読書グループ設立も視野に入れ継続したい事業です。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,697	18,140	28,676	22,778	11,898
財源計	1,097	3,650	14,186	8,288	2,448
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	21	489	996	309
	一般財源	1,076	3,632	7,292	2,139
受益者負担金	16	12	0	5	0
職員人件費 (従事職員数)	12,600 (2.00)	14,490 (2.30)	14,490 (2.30)	14,490 (2.30)	9,450 (1.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催	見込	25.00	25.00	30.00	30.00
			実績	37.00	27.00	34.00	
	指標名 (単位)	ボランティア養成・スキルアップ講座開催数(回)	活動の総事業費(千円)	660	666	694	
			活動にかかるコスト(千円)	17.84	24.67	20.41	
活動2	活動名 (活動内容)	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催	見込	320.00	320.00	380.00	380.00
			実績	382.00	444.00	438.00	
	指標名 (単位)	全公立幼稚園・保育園出前おはなし会開催数(回)	活動の総事業費(千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	1.65	1.42	1.44	
活動3	活動名 (活動内容)	安城版ブックスタートの実施	見込	0.00	0.00	32.00	48.00
			実績	0.00	0.00	32.00	
	指標名 (単位)	安城版ブックスタート実施回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,260	1,280	9,626	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	300.81	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	図書館での定期的なおはなし会の充実(人)			目標	3,200.00	3,500.00	3,700.00	4,000.00
				実績	3,710.00	3,391.00	3,349.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	4,000.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2	読み聞かせボランティアの育成と支援(人)			目標	150.00	160.00	170.00	180.00
				実績	158.00	184.00	192.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	180.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・18年度より公民館を拠点に活動する読み聞かせボランティアを養成するための講座を順次開催し、25年度がその最終年度でした。平成26年度からは昭林公民館を含めた全ての公民館でおはなし会を定期的に開催することとなります。これにより、より身近な公民館でおはなし会に参加でき、未就園の子どもたちの読書環境が一層整えられました。また、「安城版ブックスタート」を受けた方の次のステップとしての機能も果たすこととなりました。・この活動はボランティアの方々の生涯学習、生きがいにもなっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・全公立幼稚園・保育園(全27園)への定期的出前おはなし会は、職員だけでは出来ないため、12の読み聞かせボランティアグループに19園へ出向いてもらっています。・ブックスタートでは、そのために立ち上げたボランティアグループ「ふぁーすとBook」(会員26名)の皆さんが主力となり実施しています。・学校等による団体貸出の利用促進のため、事前申込があれば希望内容の図書、冊数を図書館で用意するサービスを行っています。
成果	・全ての園へ出向くことによって、多くの子どもたちがおはなしや本の面白さを体験できました。・安城版ブックスタートでは、ボランティアの方々の丁寧な対応が好評で、95%の配布率でした。いずれも今後の子どもたちの読書習慣の醸成につながると考えます。・ボランティアの方々の活動は大変活発で読書活動推進の牽引力となっています。多くの方は熱心で真面目に活動されていますが、活動内容の慎重な精査も必要と考えます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市域全体のサービス網を充実させるため、図書館はコーディネート役、パイプ役も重要です。その役目を発揮するためには、ボランティア以上の知識と経験が必要ですので職員の自己研鑽、研修も一層力を入れていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	安城に生まれた子どもたちが、豊かな読書体験を積みながら大人になれるような読書環境を整えるため、今後も市民と協働し、きめ細かな読書活動推進事業を行います。・また29年度に開館する図書館情報館では学校図書館との情報共有、人的交流、物流の方法を考えます。